

広報



ごじょうめ

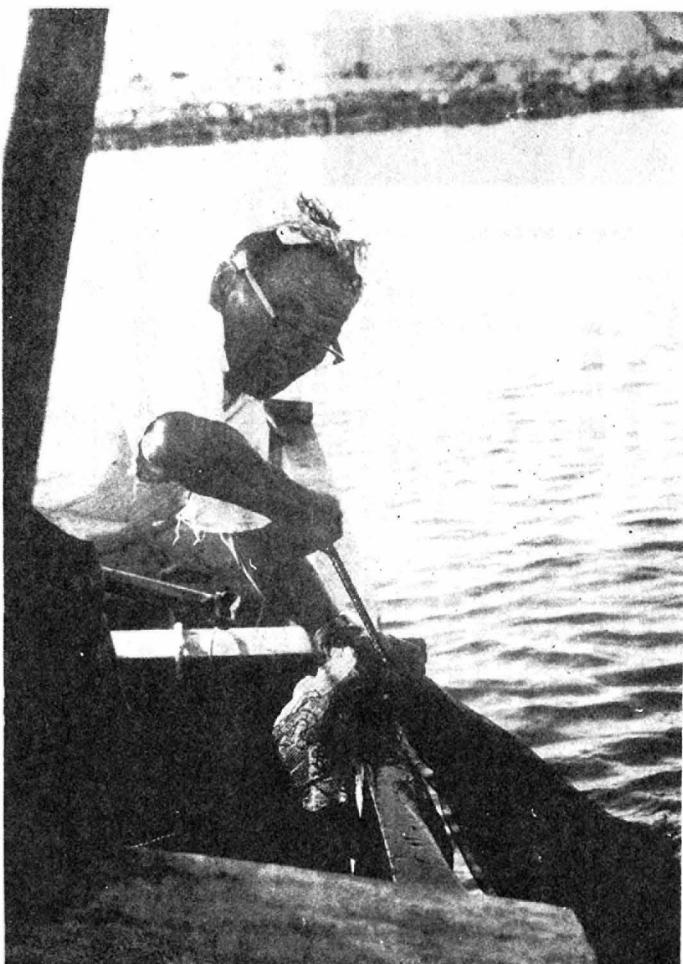
発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課 電話(018876) 代 2100番
 印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 (一部五円)
 郵便番号 018-17 毎月1日・15日発行

<ミニ知識>

赤ちゃんの太りすぎに注意

赤ちゃんが太っていたほうがよいという考え方があるが一般的なようだが、大人と同じで赤ちゃんの太りすぎは、けつてよいことではない。

赤ちゃんの体は、70%が水分で、太りすぎの赤ちゃんは下痢などが原因で脱水症になりやすい。脱水症にもつとも鋭敏に反応するのが、脳細胞です。脱水がひどくなると、けいれんなどが神経系統の症状招き命となりとなる場合がある。



なれた手さばきで網をあげる浅野さん

親たる事の難しさ
石崎 加藤けい子

湖に生きる老人と

今年の敬老会は、町の行事の関係で去る二十七日五城目小学校でおこなった。対象者は七十才以上九十五名で、当日の参加者は六〇名を数えた。老人問題は枚挙にいとまがないが、やがて高齢化社会になることは間違いない。ここに老人であることを忘れ仕事に生きがいを見い出している人を紹介する。

浅野辰蔵さん六十九才、漁師。雨の日も風の日も、湖水に船を浮べて五十一年。今日もリズムカルなエンジンの音を馬場自川河畔にひいかせながら漁場へ急ぐ。八郎鴻十拓後、魚獲量はめっきり減った。仲間も今は七名となり、年中船を走らせているのは二人位あとは出かせきが多い。老人にとって仲間が減っていくことは、この上なく淋しい。しかし、浅野さんの生きがいは湖で魚を獲ることだ。すぎた日々は恋しいことであった。長男と二人で漁をして帰る途中、横風と横波を受け魚と網と一緒に湖水に放りだされ、九死に一生を得た事がある。以来長男は船をおいた。が、浅野さんは湖と別れを告げる気にはなれなかつた。魚の重みで船が沈む程疲れた頃がなつかしく、夢にまでみたものだが、今はすっかりあきらめている。ただ、老後の生活を自らの手で充実したものにという、誇りが感じられた。

人生の最大の幸福は、自分の子供が健康で立派に成長し、淡漠として人生行路に伸びて行く姿を見るこそ真の幸福と思う私は、娘一人の母として物語る資格も無いまま、子達はそれ世帯をもちました。娘は丸々太った二人の男系を見せてくれ実際に我が家のある環境的クライマックスの影を見ると心の底から慰安が湧いてくる。

今静かに顧みるに、子に對しては余りに專制であり、優し愛情すら犠牲にした事が心の奥に嘘むお前達はどんなに優しく温い母を望んだ事だろう。良くそれに耐えて無事に育ってくださいました。私は今母として心の底からお前達を呼んで見たい。教育は知識教育共に変わったが多くの母の母性を修得する必要を体験しました。なぜならば、家庭教育には愛情の力は優れてゐるが、愛に溺れて理達を教える事がある。教育の科学的専門的な知識にも乏しい。

しかし学校教育は丁度これと反対に科学的素養は充分である。そこには両者の完全な統合も缺く事の出来ないのでしょう。子供を育て盛りのお母様方、新しい社会の中で悔いのない「母たる事の難しさを良い条件の中で学んで下さい」「道をゆく」

されど我れ、その

